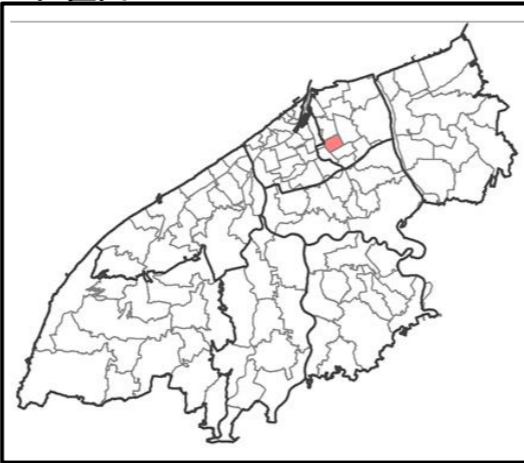


様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 3 columns listing residential addresses such as 卸新町1・2丁目, 紫竹, 紫竹6・7丁目, etc.

●位置図



●施設・団体

Table listing facilities and organizations including 市役所・区役所等, 警察・消防, 消防団, 水防倉庫, 一時避難場所, 広域避難場所, and 主な用要施設.

●人口

Table and pie chart showing population statistics: 総人口 7,272人, 地区の割合, 市の割合, and age distribution (0~4歳, 5~14歳, 15~74歳, 75歳~).

●建物関連指標

Table and pie chart showing building-related indicators: 総棟数 2,919棟, 地区の割合, 市の割合, and building age distribution (S55年以前建築, S56年以降建築).

●地区内の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites within the district, including 竹尾小学校, with columns for 施設名, 標高, 階数, and 避難可否 (地震, 津波, 洪水, 土砂災害).

●地区外の避難所・津波避難ビルなど

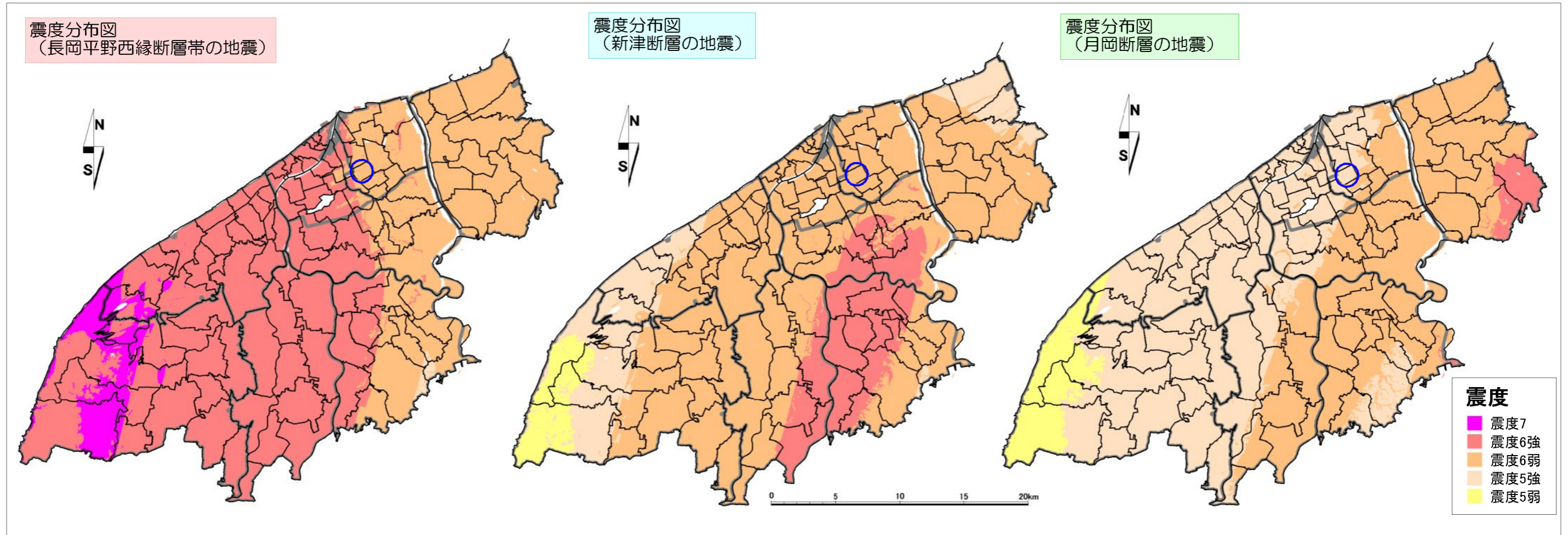
Table listing evacuation sites outside the district, including 東新潟中学校, 沼垂小学校, 江南小学校, etc., with columns for 施設名, 標高, 階数, and 避難可否.

避難の可否(災害ごとに表記): 開設する施設を「○」・「避難可能な階数」、開設しない施設を「-」、避難に適さない施設を「×」

●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risks for 地震 (Earthquake), 津波 (Tsunami), and 水害 (Water damage), describing the area's vulnerability to seismic activity and flooding.





	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年  断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。  月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上  断層の活動性 0.4m/千年程度

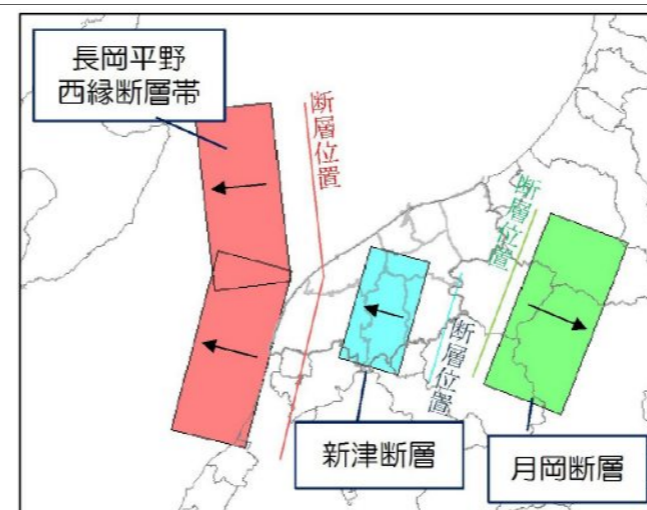
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

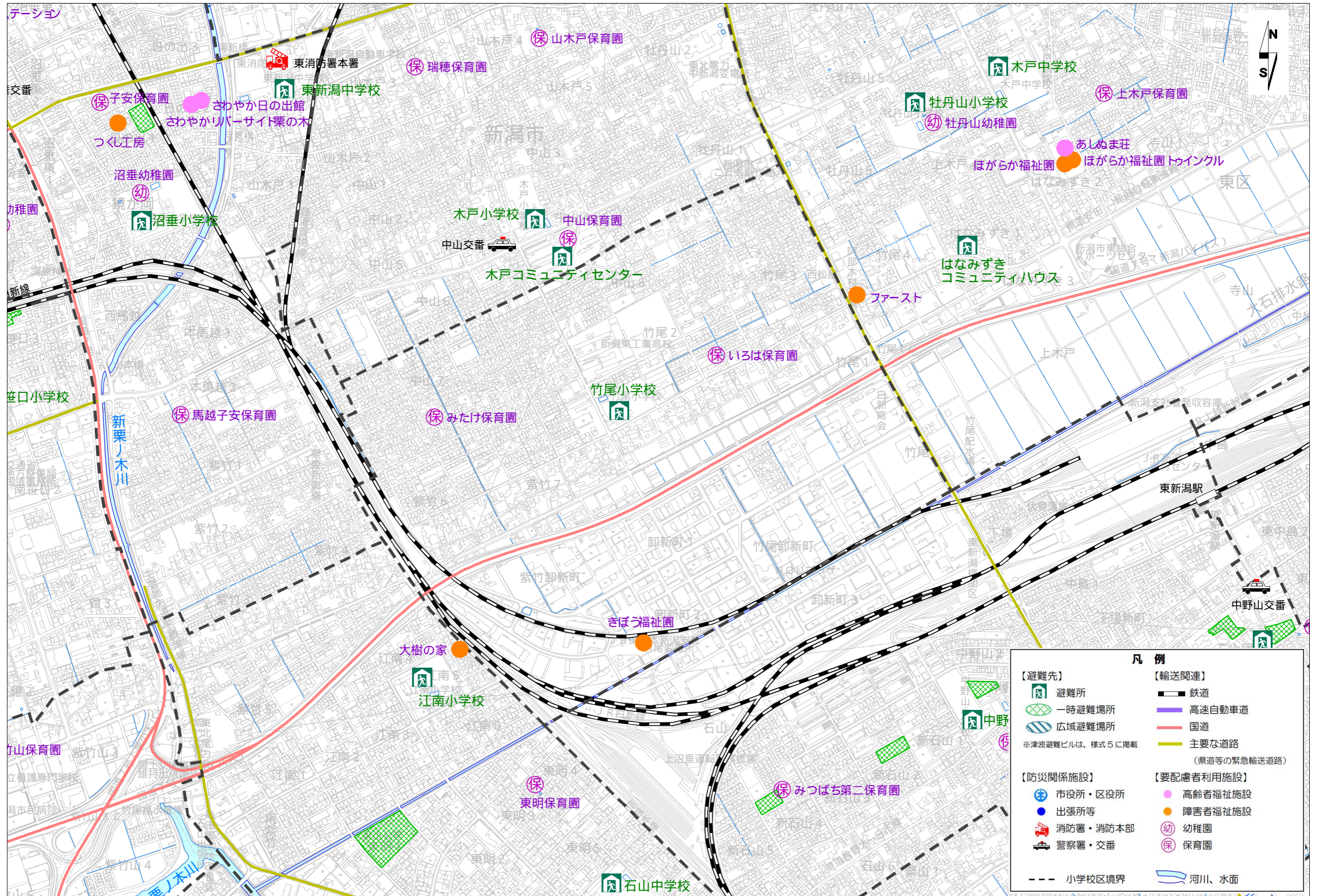
<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



← は、断層の傾きを示しています。



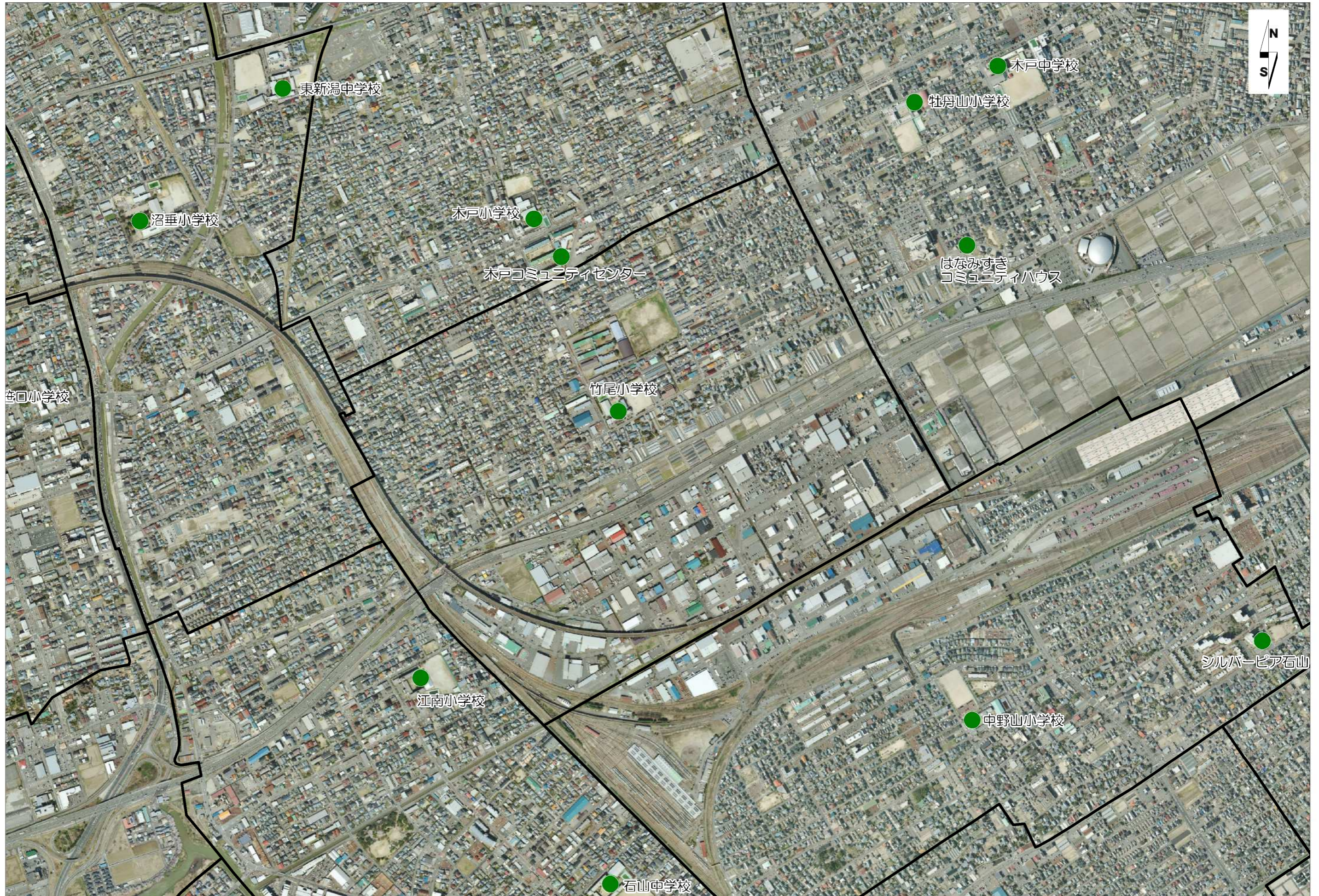


凡例	
【避難先】	【輸送関連】
避難所	鉄道
一時避難場所	高速自動車道
広域避難場所	国道
※津波避難ビルは、様式5に掲載	
【防災関係施設】	【要配慮者利用施設】
市役所・区役所	高齢者福祉施設
出張所等	障害者福祉施設
消防署・消防本部	幼稚園
警察署・交番	保育園
小学校区境界	河川、水面

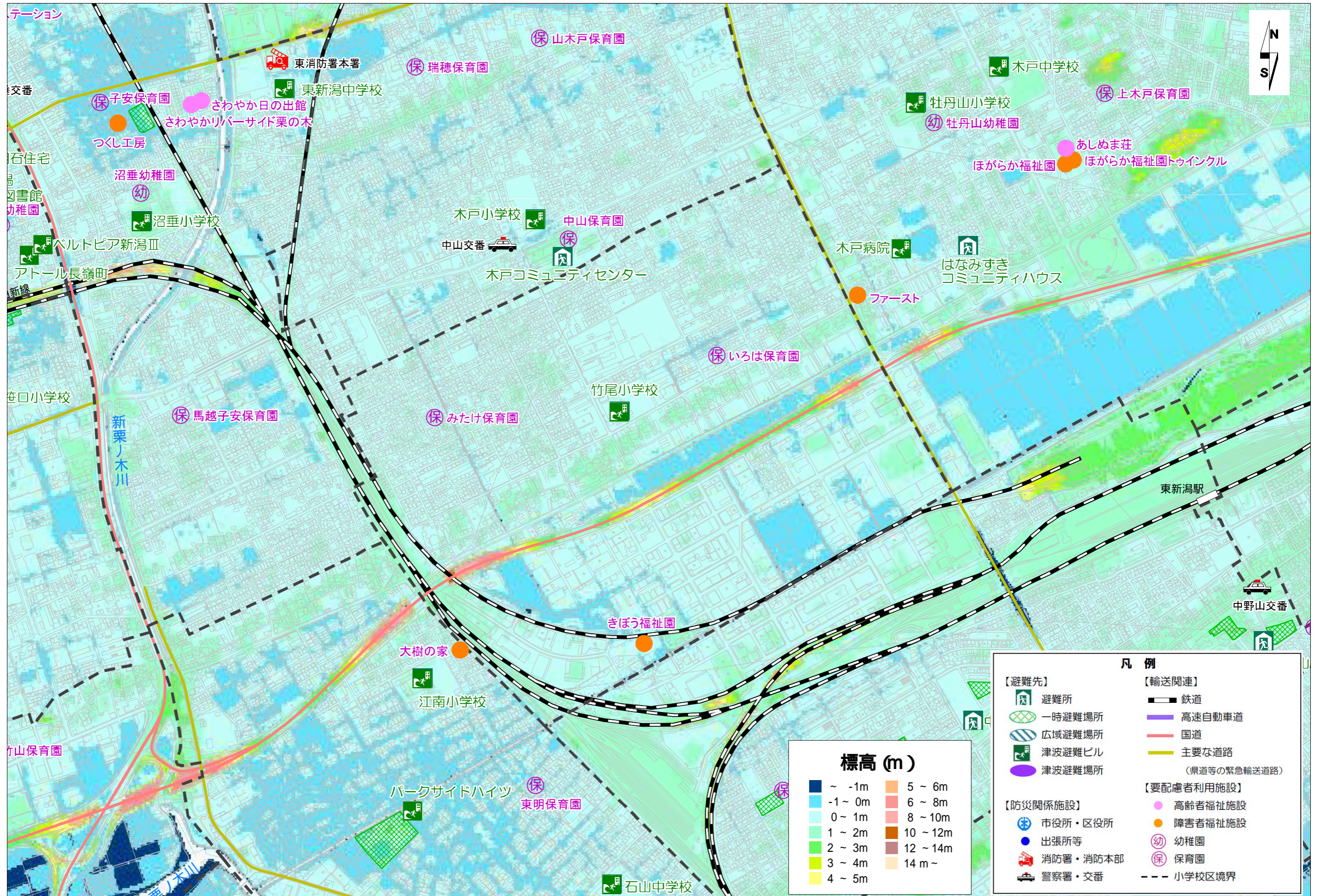
[出典] 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)











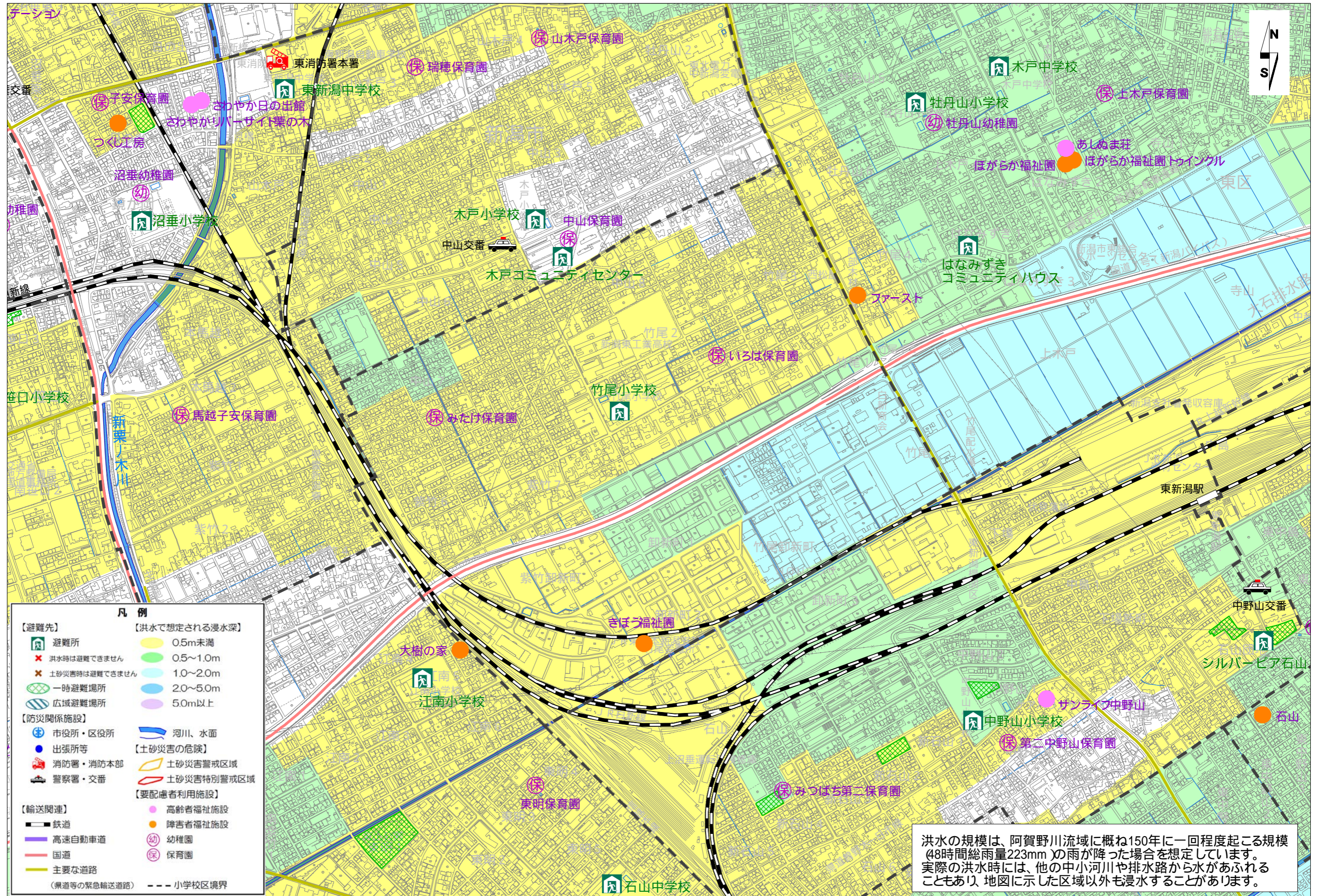
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)





様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（阿賀野川）

竹尾小学校区



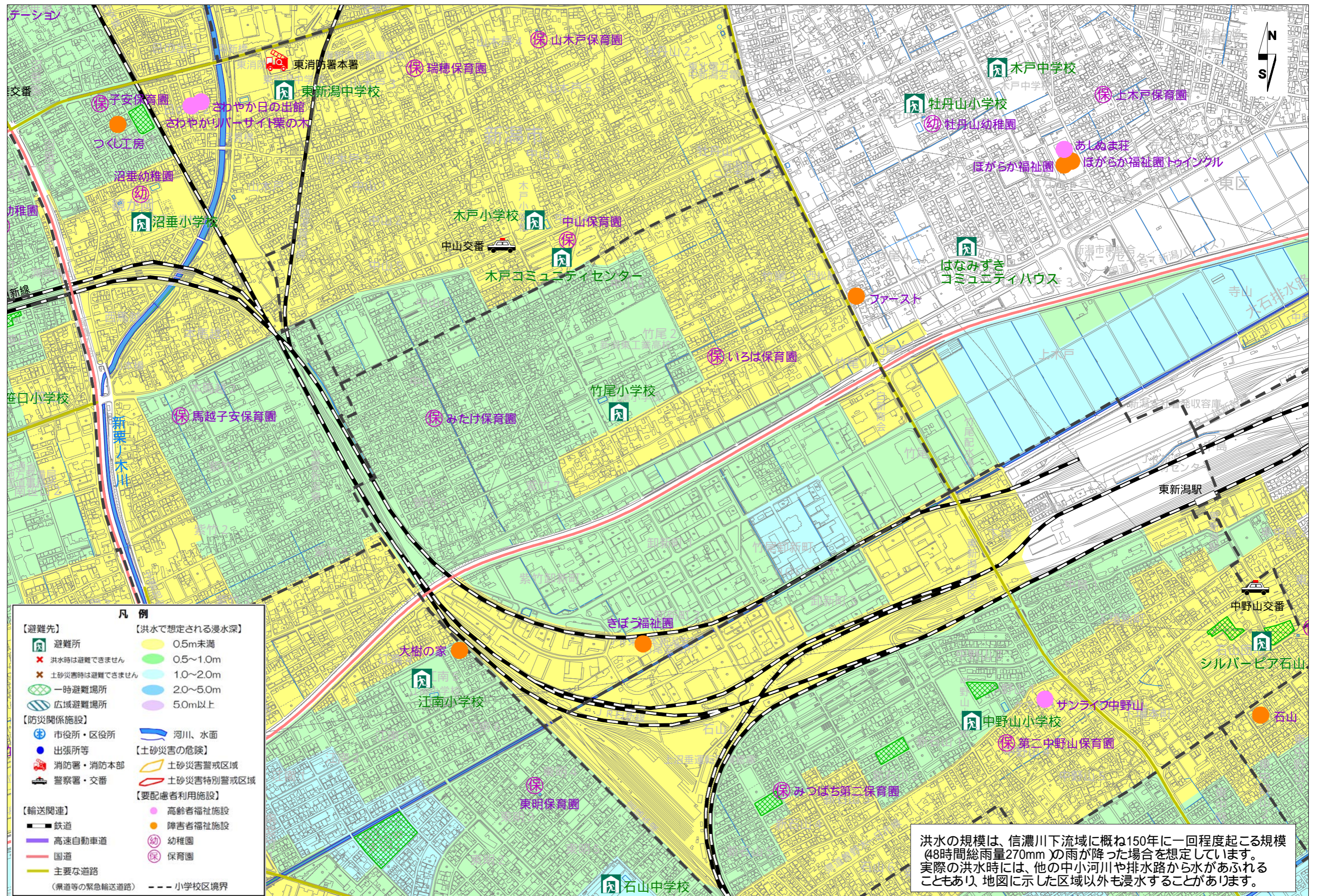
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年) 阿賀野川浸水想定区域(国土交通省,平成14年1月31日)

0 100 200 400 600 800 1000m



様式6-2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（信濃川下流）

竹尾小学校区



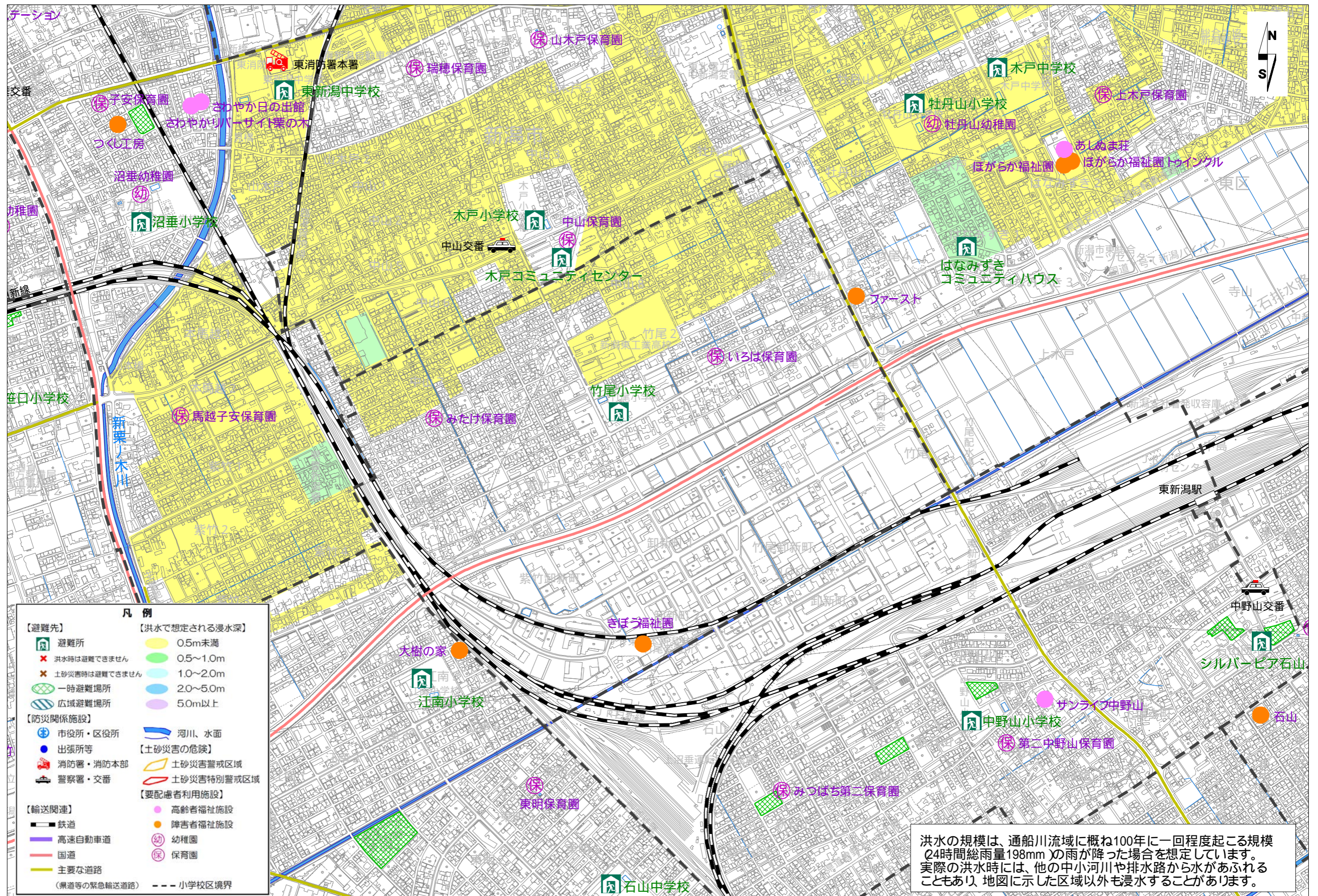
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)

0 100 200 400 600 800 1000m

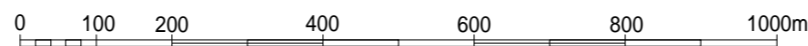


様式6-3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（通船川・栗ノ木川下流（新栗ノ木川））

竹尾小学校区



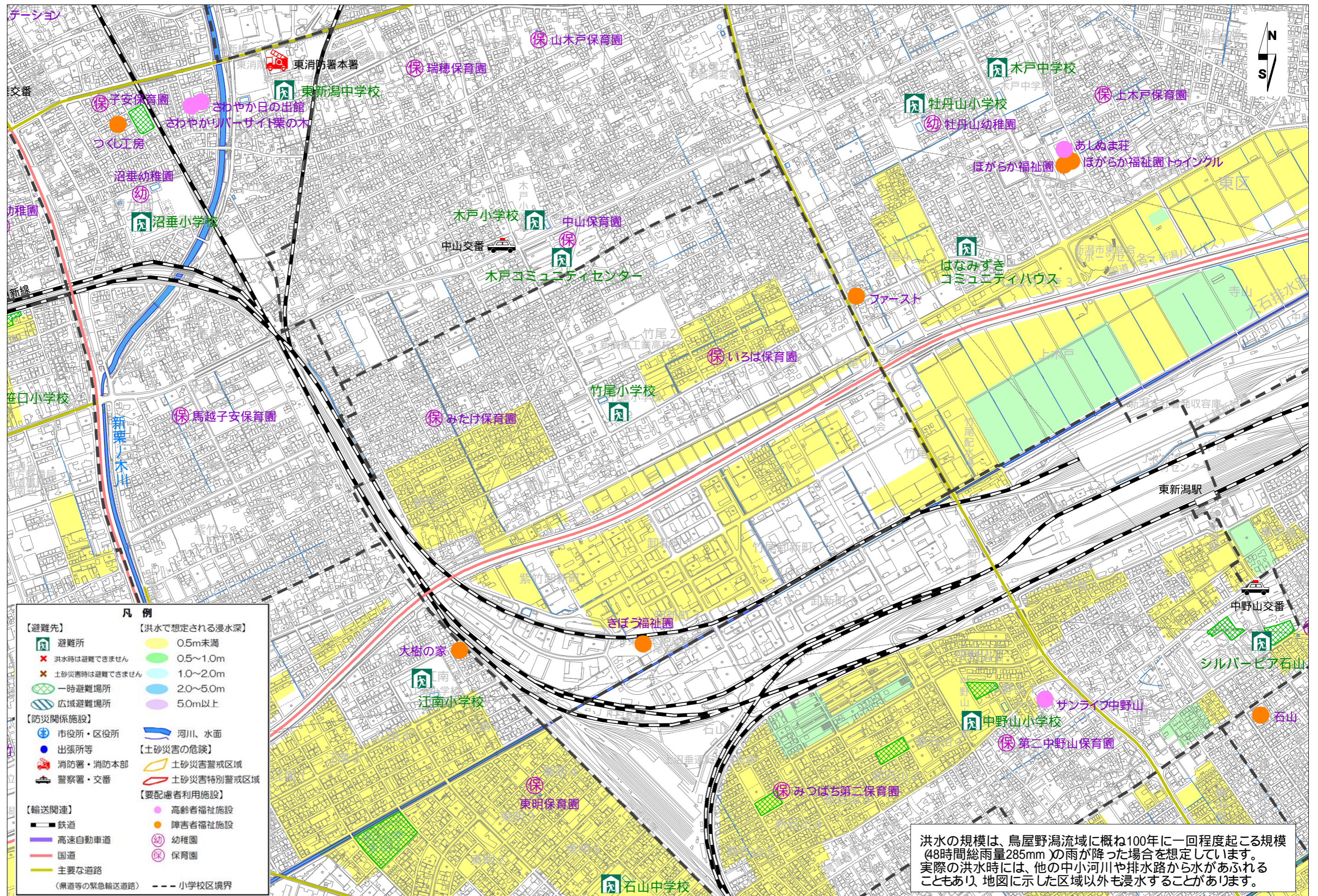
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年、平成25年、平成26年）  
通船川 栗ノ木川下流（新栗ノ木川）浸水想定区域（新潟県、平成17年8月25日）





様式6-4 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路）

竹尾小学校区



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年，平成25年，平成26年）  
 栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路浸水想定区域（新潟県，平成18年8月25日）

洪水の規模は、鳥屋野潟流域に概ね100年に一回程度起こる規模（48時間総雨量285mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。